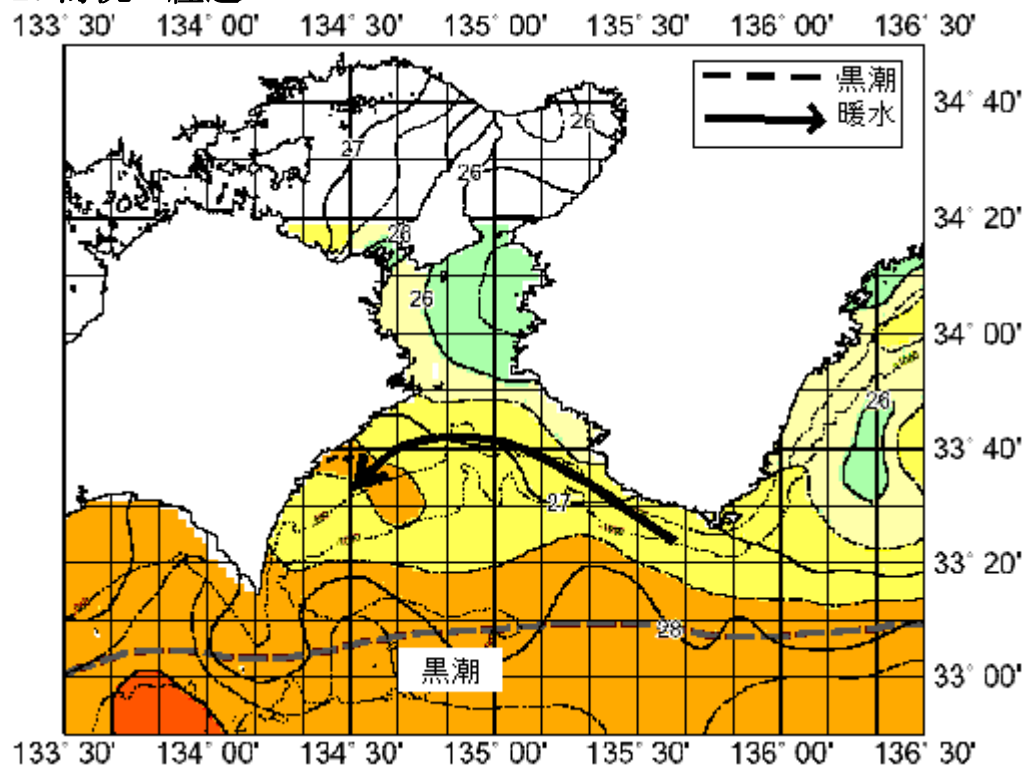


1. 海況の経過



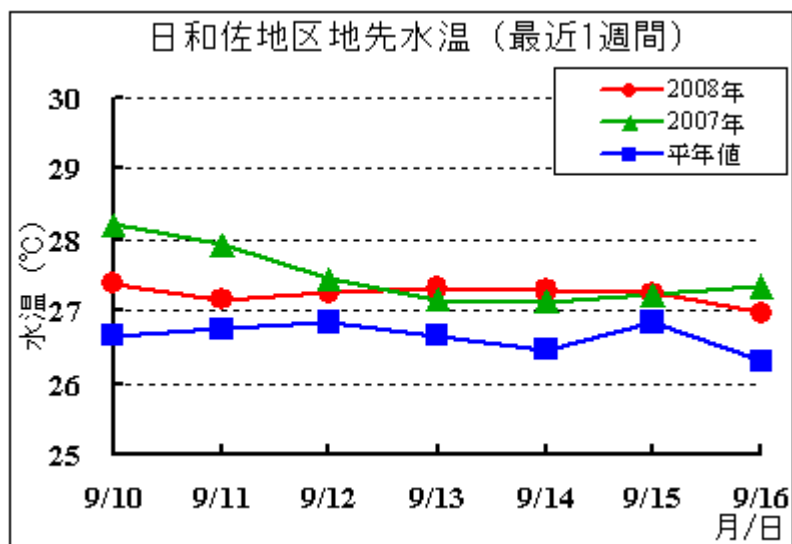
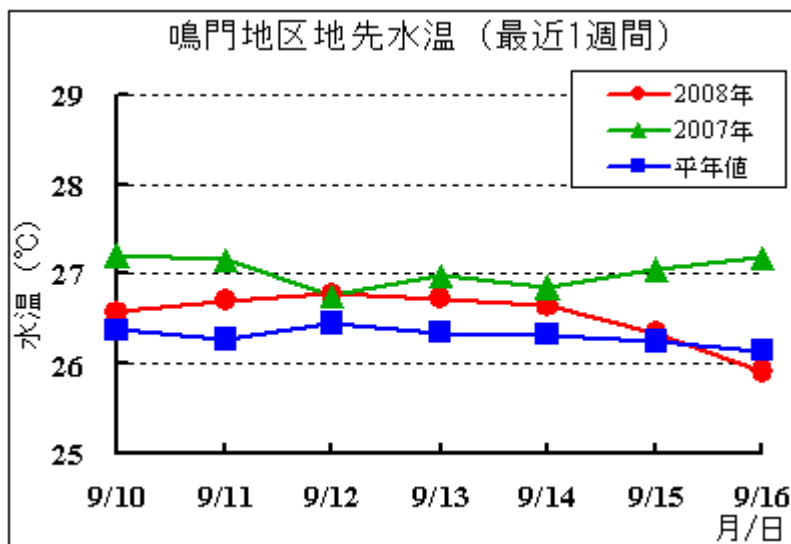
海況

上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H20.09.16)を示した。黒潮は室戸岬沖で接岸、潮岬沖でやや離岸している。黒潮本流の表面水温は28～29℃台である。表面水温は播磨灘が26～27℃台、紀伊水道内部が25～26℃台、外域が26～27℃台である。紀伊水道外域は、和歌山側から反時計回りに黒潮の分枝流が流入している。漁業調査船「とくしま」が9月4,5,11日に行った紀伊水道海区の海洋観測では、水温は表層が「平年並み」の26.5℃、10～30m層が「やや高め」の25.7～26.2℃、50m層が「平年並み」の22.7℃であった。

水温	水深					塩分	水深				
	表層	10m	20m	30m	50m		表層	10m	20m	30m	50m
今年値	26.5	26.2	26.1	25.7	22.7	今年値	32.6	33.0	33.3	33.5	34.0
平年偏差	0.4	0.5	0.6	0.8	0.3	平年偏差	0.6	0.4	0.2	0.1	-0.1
前年偏差	-0.7	-0.2	0.2	0.2	-0.6	前年偏差	0.0	0.1	0.0	-0.1	-0.3

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」の25.9～26.8℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の27.0～27.4℃、牟岐地区は「平年並み」～「高め」の27.3～28.0℃で推移した。



2. 漁況の経過

延縄:海部沿岸で、カワハギが0.3トン(1日1隻あたり38kg)水揚げされた。

小型定置網:海部沿岸で、アオリイカが0.3トン(同12kg)、カマス類が4.2トン(同168kg)、マメ主体にマアジが3.0トン(同166kg)、小主体にマルアジが1.2トン(同145kg)、マルソウダが0.3トン(同8kg)、中主体にヤマトカマスが2.7トン(同211kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、イサキが0.3トン(同68kg)、カマスサワラが0.4トン(同45kg)、サワラが0.3トン(同19kg)、紀伊水道で、中主体にサワラが3.3トン(同47kg)、特大・中主体にタチウオが1.0トン(同29kg)水揚げされた。

パッチ網:紀伊水道で、シラスが19.8トン(同200kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 09月08日～09月14日 県下6漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄		カワハギ	7	269	38	
小型定置網	海部沿岸	アオリイカ	27	332	12	
		カマス類	25	4,204	168	
		マアジ	18	2,987	166	マメ主体
		マルアジ	8	1,159	145	小主体
		マルソウダ	33	260	8	
		ヤマトカマス	13	2,740	211	中主体
		釣り	紀伊水道	イサキ	5	342
カマスサワラ	9	405		45		
サワラ	14	265		19		
サワラ	71	3,320		47	中主体	
タチウオ	34	970		29	特大・中主体	
パッチ網		シラス	99	19,800	200	

特異事項:

播磨灘と紀伊水道で、ユウレイクラゲが出現している。

週間予報:

黒潮は、室戸岬、潮岬でやや離岸～接岸で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「平年並み」の25℃台、日和佐地先で「平年並み」の26℃台で推移する見込み。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上